

輝いている人を紹介します

まちのキラリ

サロンあじさい小径

会長

佐藤 久美子 さん (月舘地域)

サロンあじさい小径の会長を務める佐藤久美子さん。あじさいを通してサロンや地域のつながりを深め、地域の魅力を育てている佐藤さんに、サロンの活動やあじさい小径の魅力を伺った。



地域の資源を活かして

あじさいの植栽を行ったのは、今から25年ほどに前になります。植栽後から地域で草刈りなどを実施してきましたが、本格的に力を入れ始めたのが、震災前に県のサポート事業を活用して行ったあじさいまつりがきっかけとなりました。その後、震災の影響でまつりの開催ができずになりましたが、地域を活性化したい、地域資源を有効に活用したい、そんな思いから2012年にサロンあじさい小径が発足し、有志の方々の協力をいただきながら震災から2年後にまつりを復活させました。

あじさいまつり

あじさいまつりは今年で12



Profile ● さとう くみこ

1952年生まれ。JAに長年勤務し、在職中に地域の人たちに支えられ、退職したら何かの形で地域に恩返しをしたいと思っていた矢先に、サロンあじさい小径の会長の話を引き受けることに。2012年の発足から会長として、あじさいを育て、あじさいを通してサロンや地域のつながりを深めている。そのほかにもレクダンス教室の会長など、積極的に活動している。

回目を迎えました。サロンは女性の会員だけなので、糠田6番組(町内会)にお願いし、2015年にあじさい小径まつり実行委員会を立ち上げ、一緒に活動しています。まつりに向けて、あじさいの手入れや案内板の設置など準備が大変です。でも、来場者から「毎年楽しみに足を運んでいます」「いろいろな品種があり楽しむことができました」など、うれしい声をいただいています。

あじさいが地域をつなぐ

あじさいを通して、若い世代を含めた地域の団結力が高まっていると感じます。作業の時期が近づく、「そろそろやっか

い」と声をかけてくれたり、まつりに合わせて直売する農産物



7月3日、糠田6番組の皆さんがあじさいの手入れを行った

を作ってくれたり、花が咲くと自然とまたやろうとみんなが思ってくれます。あじさいを植栽し、あじさいのために行ってきた維持管理でしたが、みんなの気持ちをつなぐあじさいとなっています。

今後は、植栽後25年ほど経過し老朽化が進んでいるので、昨年から行っている株の更新を進め、次世代につなげていきたいです。でも、これから人手が先細りになって、維持管理も難しくなっていくと思います。市やJA、つきだて花工房などと連携を取り、協力をもらいながら、市内外にあじさい小径を広めていきたい。そして伊達市の観光スポットにしていきたいです。